

2026年
1.2
月号

東神戸病院News

編集・発行：東神戸病院 広報/宣伝委員会

Vol.208



新年のご挨拶～コミュニティホスピタルを目指して～

皆さま。あけましておめでとうございます。第二次世界大戦終戦から80年、阪神淡路大震災から30年を迎えた2025年も終わり、あらたに2026年が始まりました。

昨年は東神戸病院では、いくつかの取り組みを開始しました。「東神戸病院オープン講座」は2024年11月にスタートしましたが、2か月に1回第3土曜日に開催することが定着しました。

「熱中症調査」に初めて取り組み、その結果、

猛暑の中、クーラーをつけずに我慢されている方もおられました。経済的な状況や人とのつながりとクーラーの使用状況との関連も示唆され、あらためてSDH(健康の社会的決定要因)の存在を認識しました。また6年ぶりに開催された、「映画上映会」では100名を超える参加があり、映画鑑賞した後の「茶話会」でも多くの出会いがうまれました。

孤立や経済的な困難は、大きなSDHであり、それ自体が改善されなければ、本当の健康は得られないものと考えています。

東神戸病院は、地域に開かれた、そして地域に溶け込んだ病院でありたいと思いますし、「地域全体が健康になること」を援助し、「地域から気楽に相談でき、気楽に立ち寄れる身近な病院」～コミュニティホスピタルを目指しています。

東神戸病院の南に隣接して「東神戸医療互助組合会館」も昨年末にオープンしました。これは、神戸健康共和会の大切なパートナーの「東神戸医療互助組合」の



「コミュニティスペース」です。互助組合とも協力し、さらに、「地域を笑顔」にしていきたいと思います。格差の拡大、新たな貧困の問題、世界で繰り返される紛争・戦争、そして気候危機など、大きな問題が横たわっています。微力であっても地域から・・・それに対する活動を進めていきたいと思っています。今年もよろしくお祈りします。

健康まつり つながる ひろがる 笑顔 地域 未来

■ たくさんの参加者で大にぎわい

11月2日（日）、御影公会堂にて東神戸医療互助組合主催の健康まつりが行われました。年代を問わず多くの方が参加され、終始にぎやかで楽しい一日となりました。ステージでは、少林寺流空手同好会、エイサー、三線同好会による迫力ある演舞で幕開け。

続いて「神戸元気いきいき体操」、神戸大学医学部音楽愛好会の演奏、健康フラダンスとバラエティ豊かなプログラムが続きました。

さらに、マジシャン・やまさきそらさんによるマジックには多くの方が集まり、驚きと笑いに包まれました。

その後、神戸大学附属中学校コーラス部による演奏があり、遠山院長率いる遠山一座による「H病院物語」の演劇が披露されました。

フィナーレのビンゴ大会では豪華賞品が次々に当たり、大盛りあがりのままステージは終了しました。

■ 飲食コーナーも大盛況

1階の飲食コーナーでは、芦屋支部のおでん、住吉南支部のバナナケーキ、葺合北支部のクッキーを販売。

また、ありまみち商店街の協力により「さかなでいっぱい」さんのお弁当、「マル井パン」さんのパンも販売され、いずれも完売となりました。

■ 2階・3階の体験コーナーも大人気

2階では健康チェックコーナーとAEDコーナーを実施。

AEDを初めて触る方や骨密度測定が初めての方など、多くの来場者が体験され、終日賑わいました。

3階では子ども雑貨販売、健康吹き矢、看護師体験コーナーを開催。特にお子さんたちが楽しむ姿が多く見られ、ご家族で回る微笑ましい様子も見られました。

■ 今年も無事に大成功！

全体を通し、本当にたくさんの方が御影公会堂に足を運んでくださり、地域の方々、そして組合員の皆さんの協力があり、今年の健康まつりを成功させることができました！当日、会場にお越し下さった皆様、本当にありがとうございました。



職員対談企画「仕事はちがっても、思いはひとつ」

～医療事務×リハビリスタッフが語る「支えるということ」～



リハビリ 西土サツ

東神戸病院では、職種の垣根をこえて“患者さんを中心に支え合うチーム医療”を大切にしています。今回は、普段あまり接点のない医療事務課とリハビリテーション科のスタッフが、それぞれの現場で感じている「患者さんへの寄り添い方」について語り合いました。



医療事務 吉延サツ

西土（リハビリテーション科）

「受付での“最初の一言”って、患者さんの印象を左右しますよね。どんなことを意識して声をかけていますか？」

吉延（医療事務課）

「特別な言葉よりも、自然なあいさつを大切にしています。朝なら『おはようございます』、昼なら『こんにちは』と、患者さんの方から声をかけてくださることも多いんです。その明るさに助けられながら、同じ温度感で返すようにしています。意識しているのは“患者さんの気持ちに合わせること”。少しでも明るく、余裕をもって話しかけたいと思っています。」

吉延

「リハビリでは、言葉にならないサインをどう感じ取っていますか？」

西土

「入院中は、痛みや不安で前向きになれない方もおられます。だからこそ、表情や何気ない言葉から気持ちを感じ取るようにしています。また、チームで支えるためには“リスペクト”が大切。リハビリ・事務・看護・医師、それぞれの専門性を尊重しながら、患者さんを中心に関わることを心がけています。」

西土

「では、事務職としてチームで支えるときに意識していることは？」

吉延

「“気づける力”を大事にしています。困っているスタッフがいたら声をかける、患者さんが戸惑っていたらすぐに動く。『助けて』と言われてからでは遅いことも多いので、早めに動けるよう心がけています。」

西土

「“気づきたい”という気持ちを持って関わるこって大切です。」

立場はちがっても、“支える”という思いはひとつ。その小さな気づきと寄り添いが、東神戸病院のあたたかさをつくっています。

この続きは、東神戸病院公式Webサイト・SNSで公開中です。



外来診療体制表 (2026年1月現在)

受付開始時間 診療時間
 午前 8:30~ 8:45~12:00
 夜間 16:30~ 17:00~19:00

診療科目	時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	*遠山 *藤末 *浅田 鱸 新患外来	*藤末 *瀧本(和) *遠山/馬田(隔週) 松本(郁) 新患外来	*高島 *瀧本(和) *馬田 *瀧本(恭) 湯徳 新患外来	*瀧本(和) *大槻 *藤末 馬田 新患外来	*武村【2・4】 *永野 *山田 佐伯 谷口【1・3・5】 新患外来	*遠山【4】 *馬田(一般)【1】 松本(成) 新患外来
	午後	*大槻(糖尿病) *吉川(緩和ケア)	*馬田(糖尿病)	*遠山(循環器)	*遠山(循環器) *高島(リハ) *瀧本(和)(被ばく)		
	夜間	高島 藤末 水間					*遠山(一般) *大槻(一般) 瀧本(和)
外科	午前	菅本		菅本		菅本	菅本【1・3】
消化器外科 肛門科	午前		高村		高村		高村【2・4】
整形外科	午前	*藤井(一般あり)	合田	*藤井(一般あり)	合田	*藤井(一般あり)	
	夜間					合田	
小児科	午前		*森岡			*森岡	*森岡【月2回】
	午後	*森岡(喘息特診)	*森岡			*森岡	
	夜間	*森岡(喘息特診)					
神経診療 内科	午前	*千古	*山中	*千古	*千古	*千古	
	午後			*千古 (ものわずれ外来)	*千古		
	夜間					*千古	

- ・【 】内の数字は第〇週目を表しています。
- ・名前の前に*印がついているのは予約診療です。但し（一般）（一般あり）と書かれている場合は一般診療も行っています。
- ・急病の場合はこの時間の限りではありません。お電話にてご相談ください。

感染拡大防止のため、病院へ入館する際の体温チェック・マスク着用をお願いします。
 また、入院患者さまへの面会制限も実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

特定医療法人 神戸健康共和会 東神戸病院

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1丁目24番13号
 電話：078-841-5731
 FAX：078-822-6877
 健診予約：078-841-5673
 ホームページ：<https://k-kyowakai.or.jp/eastkobehp/>



当院には駐車場はありません。
 近隣駐車場をご利用下さい。



あなたの声をお聞かせください！
 地域の皆様にとって利用しやすい病院を目指します。
 病院・職員に対する意見・感想をお聞かせください。
 (右の二次元コードを読み取ってください)

